

# 平成19年度 施策 評価 票

政策の柱	心豊かに夢がふくらみ育つまち	主要施策目標	次代を担う子どもの生きる力を育むまちをつくる
基本施策目標	<b>子どもの視点にたった教育施策の推進をめざす</b>		施策番号 6-1-1

主管課	教育部 学校教育課	関係部課	教育部：学校教育課
記入者	塚田	電話	3122

施策の概要	目的	対象
	子どもの視点に立ち、学力の向上と豊かな心の育成を図るとともに、施設整備の向上をめざします。	すべての子どもたち、子どもたちの保護者、家庭、教職者、学校、行政機関、学校環境をとりまく全てのおとなたち
	現状	展開の方針
	いじめや不登校等子どもを取り巻く環境は日々変わっていく現状の中で、こどもの目線に対応するおとなの姿勢の大切さが重要となっています。老朽化が進み地震や災害に耐え得る改造をしながら校舎の延命に勤めています。安心して勉強できる環境整備に取り組んでいます。	学校と行政は明確な目標と理念をもって、子ども一人ひとりの人格形成につながる教育方針の共有を図ります。また、学校現場をサポートするシステムを設け、地域に開かれた学校づくりを進めます。子どもたちの安全を第一に考えた施設整備、通学時の安全確保に地域と一体となって取り組みます。

市民効果指標	指標名	単位	H16年度	H17年度	H18年度	H22年度	達成率	
	大規模改造実施比率（実施校/全校）	%	8.89	8.89	8.89	17.8	50.0%	B
不登校児童生徒の比率（不登校児童生徒数/全児童生徒数）	%	0.9	1.2	1.5	1.1	70.0%	C	
第8次基本計画目標値	小中学校の耐震工事の実施率	%	-	61.53	69.23	84.60	81.8%	B
	教育・学習環境に対する市民満足度	%	37.3		(37.3)	50.0	74.6%	B
	第二学校給食センターの改築				未着手	完了	0.0%	-

市民満足度調査結果	項目	そう思う割合	ややそう思う割合	得点	順位
	教育・学習活動に対する市民満足度		6.3%	31.0%	3.13
次世代を担う教育が行われている		11.2%	19.4%	3.05	40/83

補足・説明等	
--------	--

## 主要事務事業の評価結果

No.	上段：事務事業名	実績及び見込（上段：事業費（万円）、下段：職員数）				評価結果		展開の方向	今後の方向性
	下段：担当課名	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	1次	2次		
1	小中学校等の人権教育推進事業	401.0	271.0	214.0	173.0	A	A	継続	学校・家庭・地域・人権関係団体等と連携し人権教育を推進
	学校教育課	0.50	0.50	0.50	0.50				
2	特別支援教育推進事業	82.9	82.8	76.5	89.0	A	A	継続	地域の理解を深め、職員等によるサポート体制を充実
	学校教育課	0.01	0.01	0.01	0.01				
3	不登校児童生徒対策事業	133.0	306.0	147.4	147.4	A	B	継続	中間教室でのサポートの充実、外国籍児童への対策の充実
	学校教育課	1.00	3.00	2.00	2.00				
4	授業用校用備品充実整備事業	22,213.0	26,642.0	21,125.0	28,563.0	A	B	継続	現場の声を聴き、質量とも時代に則したよりよい備品を充実
	学校教育課	0.40	0.40	0.40	0.40				
5	要保護・準要保護児童生徒対策事業	11,657.0	13,131.0	13,968.0	14,424.0	A	B	継続	社会情勢の悪化時におけるセーフティネットとして継続
	学校教育課	0.80	0.80	0.80	0.80				
6	遠距離児童通学補助	3,407.5	6,844.0	7,187.7	7,685.0	A	B	継続	ニーズが高く、効率的な手法を検討し継続
	学校教育課	0.10	0.10	0.10	0.10				
7	幼稚園・小・中学校営繕	14,498.4	15,403.0	13,005.5	13,589.0	A	B	継続	限られた予算の中で工夫をしながら施設の維持管理を実施
	学校教育課	0.20	0.20	0.20	0.20				
8	小・中学校大規模改造事業	1,535.0	1,169.0	85,590.0	70,039.0	A	A	継続	施設の老朽化が進んでおり、事業手法、事業ペースを見直し
	学校教育課	0.2	0.20	1.20	1.20				
9	地震防災緊急事業	47,888.0	19,327.8	5,550.3	9,474.5	A	A	継続	緊急性が高く目標期間内に計画的に推進
	学校教育課	1.40	1.40	1.00	0.30				
10	トイレ環境整備事業	1,822.8		896.2		A	B	廃止	整備完了のため廃止
	学校教育課	1.20		1.20					
11	私立幼稚園運営費補助金	5,769.0	8,124.0	5,735.0	5,824.0	A	B	継続	子育て支援の観点から継続して実施
	学校教育課	0.10	0.10	0.10	0.10				

区分	施策の事業展開							6-1-1	
	H17まで	H18	H19	H20	H21	H22	H22以降	備考	
施策及び事務事業の体系	学校現場におけるサポート体制の充	小中学校等の人権教育推進事業（学校教育課）							A 継続
		特別支援教育推進事業（学校教育課）							A 継続
		特殊教育就学奨励事業							
		特別支援学級運営事業							
		不登校児童生徒対策事業（学校教育課）							B 継続
		小学校AET配置事業							
		小・中学校IT活用事業							
		「花を育てる心」育成事業							
		乳幼児情操教育事業							
		授業用校用備品充実整備事業（学校教育課）							B 継続
	学校行事運営費補助								
	学校評議員会運営事業								
	幼稚園小中学校協議会費負担								
	施設設備の整備推進	小・中学校大規模改造事業（学校教育課）							A 継続
		幼稚園・小・中学校営繕（学校教育課）							B 継続
		地震防災緊急事業（学校教育課）							A 継続
		トイレ環境整備事業（学校教育課）							B 廃止
		暖房機更新事業							
		学校施設整備事業							
		(仮称)東部学校給食センター建設事業							
学校施設の管理業務									
教職員住宅管理事業									
美ヶ原少年自然の家管理									
家庭・地域との協働	要保護・準要保護児童生徒対策事業（学校教育課）							B 継続	
	遠距離児童通学補助（学校教育課）							B 継続	
	トライやる・スクール事業								
	親の子育て力向上推進事業								
私立の運営補助	私立幼稚園運営補助金（学校教育課）							B 継続	
	私立高等学校運営費補助事業								
総合評価	評価ランク	評価理由	今後の方向性				市民委員会施策提言		
		<p>市民満足度アンケート結果からすると、教育施策に関しては、やや低調な結果となっている。その原因は、明確な効果、成果指標が示せない点によるところが大きいと思われる。</p> <p>それぞれの施策は以前から続けているものが多く、各個別施策は非常に重要であるが、明確な目的達成等について示すことが困難。</p> <p>施設設備の整備等については、計画的に整備されてきている。</p>	<p>施設の老朽化、あるいは設備の多様化はめざましい勢いで進んでおり、そのスピードに即した形での学校施設設備の対応や、安心安全な学校環境づくりを、子どもたちの視点で遂行していく。</p> <p>不登校、障害、外国人児童等あらゆる要因により、学校に通えない、通うことが困難な子どもを支援するため、支援教員の体制を整え、通えることのできる環境整備を進めていくとともに、地域で学校を支える仕組みを検討する。</p> <p>衛生的、効率的な設備機器を導入した学校給食センターを建設し、安全で安心して食べられる給食を提供する。</p>				<p>子どもの世界には深刻な問題が溢れています。自己解決能力のない子ども達は劣悪な状態に置き去りにされて日夜じっと耐え、放置されています。「子どもの視点（立場）にたった教育施策の推進をめざす」という施策目標にフィットした具体的な問題解決をしてください。子どもに関する施策を根本的に見直し、重点課題を位置付け、必要なところに資源を配分し活動をしてください。</p> <p>昨今の不登校、外国人、学級崩壊は現行の学校教育の限界を示しています。地域との連携はこの認識に立ってなされるべきでしょう。教師だけでは抱えきれない教室環境があり、その根底には個々の家庭の抱える問題もあります。そのため、教師が教室で起こるすべてに対応しなくてもよいような、地域・企業・社会のかかわりが必要です。学校における事件が連続したため、外部の人間が学校にかかわりにくくなっていますが、地域で学校を支え、教員を支える仕組みを作ってゆくべきです。不登校、いじめなど諸問題について学校教育の枠をこえた取り組みをしてください。</p>		

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名		小中学校等の人権教育推進事業				1						
事業期間		年度 ~ 平成 年度		担当 部課	教育部 学校教育課	課コード	131500					
				記入者	塚田	電話	3122					
第8次基本 計画の位置 付け	6	心豊かに夢がふくらみ育つまち			予算 科目	会計	一般会計					
	1	次代を担う子どもの生きる力を育むまちをつくる				款・項	教育費 教育総務費					
	1	子どもの視点にたった教育施策の推進をめざす				大業	人権教育推進費					
1 概要 (PLAN)	事業の目的		対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)							
	市内幼稚園・保育園・小学校・中学校等教職員、及び小・中学校児童生徒				人権尊重の精神を養い育て、同和問題をはじめとする様々な人権問題を自らの問題として解決しようとする意欲と実践力をもった人間を育てます。							
	事業内容・計画		内 容		基礎となる計画							
	学校人権教育の推進 学校人権教育推進委員会の運営 人権教育に関わる教職員研修の推進 児童・生徒の人権教室の運営											
		市民要望(ニーズ)等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等						
		すべての人が尊重される社会づくりは市民の願いであり、人権を重視した学校教育の推進が求められています。		学校管理職人権教育研修(県) 学校人権教育連絡協議会(県) 学校人権教育研修会(県)		人権教育及び人権啓発の推進に関する法律						
成果指標 活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等		H22目標値						
	実践記録作成校数		校	実践記録を作成し、公表した学校数/小中学校全校数		48						
	公開授業実施校数		校	公開授業を行った学校数/ブロックの中心校数		5						
2 事業執行 (DO)	事業費 (内訳)	総事業費	万円	815.0	683.0	619.5	578.5	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価	
		事業費	万円	401.0	271.0	214.0	173.0		必要性	A	A	
		国・県補助金	万円	5.0	5.0	5.0	5.0		有効性	A	B	
		市(一般)	万円	396.0	266.0	209.0	168.0		効率性	B	A	
		市(起債)	万円						公平性	A	A	
		その他( )	万円						優先性	B	B	
		減価償却費	万円						総合評価	A	A	
		人件費	万円	414.0	412.0	405.5	405.5		児童、生徒、教職員のすべてが関わる事業により、一人一人の人権意識を高め、人権が尊重される平和で民主的な明るい社会をつくるために、学校におけるより望ましい人権教育を推進することは必要不可欠です。			
		正規職員	人	0.50	0.50	0.50	0.50		4 展 開 (ACTION)	展開の方向	展開の手段	
		嘱託職員	人							拡大	委託化	
	臨時職員	人					継続	市民参加				
	合計	人	0.50	0.50	0.50	0.50	縮小	事業主体の見直し				
	事業費に対する収入等の割合	%					廃止	手続きの見直し				
	コスト	人権教育推進校当たり	校	35	48	48		休止	業務の見直し			
		単位当たりコスト	円	232,857	142,292	129,063		統合	規模の見直し			
市民一人当たりコスト		円	39	30	27	25	学習にあたっては、知的な理解を大切にしながら、人権問題の現実を学び、心の痛みに共感できるような学習内容や学習方法を工夫し、人権意識の基盤とされる自尊感情を高めたり、コミュニケーション能力を育成を図る。また、学校・家庭・地域・人権関係団体等と連携して推進。					
実践記録作成校数		校	35	48	48	H18目標達成率						
指標	対前年度伸び率	%		137.1	100.0	100.0%						
	公開授業実施校数	校	4	5	5	H18目標達成率						
	対前年度伸び率	%		125.0	100.0	100.0%						
市民協働												
備考												

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名	特別支援教育推進事業	2
-------	------------	---

事業期間	年度 ~ 平成 年度	担当部課	教育部 学校教育課	課コード	131500
		記入者	横林	電話	3128

第8次基本計画の位置付け	6	心豊かに夢がふくらみ育つまち	予算科目	会計	一般会計
	1	次代を担う子どもの生きる力を育むまちをつくる		款・項	教育費 教育総務費
	1	子どもの視点にたった教育施策の推進をめざす		大業	自律教育推進費

1 概要	事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
		学齢未満児・小・中学校児童生徒及び小・中学校特別支援教育担当	心身に何らかの障害を持った子ども一人ひとりがどういう形で就学を迎えるのが良いのかを相談するものです。また、地域社会に、特別支援教育の現状を知らせ、理解、協力を得、更なる充実・発展を図るものです。

1 概要	事業内容・計画	内容	基礎となる計画
		1 学齢未満児の就学に関する教育相談及び小・中学校児童生徒に対する就学指導をしています。 2 第45回 ふれあい教育展をあがの森で開催しています。 3 「共にひらく36号」を7400部印刷し、松本市立小・中学校特別支援学級児童・生徒全員、松本市内小学校5年生・中学校2年生全員、特別支援学校在籍児童・生徒全員に配布しています。 4 特別支援教育担任者会への補助をしています。	
		市民要望(ニーズ)等の状況	国・県・民間等における類似事業
		引き続き継続の要望が高い	根拠法令等

1 概要	成果指標活動指標	指標名称	単位	指標の計算式等	H22目標値
		教育相談申し込み人数	人		
		教育相談来室延べ人数	人		

2 事業執行(DO)	項目	単位	実績			見込	3 評価・分析(CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価
			H16年度	H17年度	H18年度	H19年度				
事業費	総事業費	万円	91.2	91.0	84.6	97.1	必要性	A	A	
	事業費	万円	82.9	82.8	76.5	89.0				
	国・県補助金	万円								
	市(一般)	万円	82.9	82.8	76.5	89.0				
	市(起債)	万円								
	その他( )	万円								
	減価償却費	万円					有効性	A	A	
	人件費	万円	8.3	8.2	8.1	8.1				
	正規職員	人	0.01	0.01	0.01	0.01				
	嘱託職員	人								
臨時職員	人					効率性	B	B		
合計	人	0.01	0.01	0.01	0.01					
事業費に対する収入等の割合	%					公平性	A	A		
コスト	円									
コスト	単位当たりコスト	円					優先性	A	A	
	市民一人当たりコスト	円	4	4	4	4				
指標	教育相談申し込み人数	人	142	193	209	H18目標達成率	総合評価	A	A	
	対前年度伸び率	%		135.9	108.3					
	教育相談来室延べ人数	人	255	350	397	H18目標達成率				
	対前年度伸び率	%		137.3	113.4					
市民協働										
備考										

本年度から学校教育法の一部改正により特殊教育(長野県では自律教育)が特別支援教育と改正された。特別支援教育は、障害のある幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、その持てる力を高め、生活や学習上の困難を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行うものであるため、必要不可欠です。

展開の方向	展開の手段
拡大	委託化
継続	市民参加
縮小	事業主体の見直し
廃止	手続きの見直し
休止	業務の見直し
統合	規模の見直し

ふれあい教育展、共にひらくの発行により地域社会に特別支援教育の現状を周知し、障害の有無やその他の個々の違いを認識しつつ様々な人々が生き生きと活躍できる共生社会を形成。専門教員の加配等によるサポート体制を充実。



平成19年度 事務事業評価票

事務事業名		不登校児童生徒対策事業				3					
事業期間		年度 ~ 平成 年度		担当 部課	教育部 学校教育課	課コード	131500				
				記入者	奈良井	電話	3127				
第8次基本 計画の位置 付け	6	心豊かに夢がふくらみ育つまち			予算 科目	会計	一般会計				
	1	次代を担う子どもの生きる力を育むまちをつくる				款・項	教育費 教育総務費				
	1	子どもの視点にたった教育施策の推進をめざす				大業	不登校児童生徒対策事業				
1 概要 (PLAN)	事業の目的		対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)						
	不登校児童・生徒の居場所づくり その保護者や学校への支援				心理的または精神的な理由により不登校状態にある児童・生徒が、中間教室等の居場所で生活するなかで自立心を養われ、学校復帰する。						
	事業内容・計画		内 容		基礎となる計画						
	1 県より不登校に係る不登校児童生徒支援ネットワーク整備事業の委託を受け、実践的な調査研究を行う。 2 市内3ヶ所にある中間教室施設の管理と運営 3 転入学してきた外国籍及び帰国子女のカウンセリング										
		市民要望(ニーズ)等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等					
		1 適応指導員の増員 2 中間教室の施設改善と増室		不登校児童生徒支援ネットワーク整備事業		松本市中間教室設置要領					
成果指標 活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等			H22目標値				
	中間教室在籍者数		人	中間教室状況報告書による在籍者数			50				
	中間教室からの復帰者数		人	中間教室状況報告書による復帰者数			20				
2 事業執行 (DO)	事業費 (内訳)	項目	単位	実 績			見込	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価
				H16年度	H17年度	H18年度	H19年度				
		総事業費	万円	233.0	613.0	333.0	333.0		必要性	A	A
		事業費	万円	133.0	306.0	147.4	147.4		有効性	A	B
		国・県補助金	万円						効率性	B	B
		市(一般)	万円	133.0	306.0	147.4	147.4		公平性	B	B
		市(起債)	万円						優先性	A	A
		その他( )	万円						総合評価	A	B
		減価償却費	万円						1 不登校児童・生徒にとって、中間教室存在等の必要性は高い。 2 不登校児童・生徒は個々異なる心理的 精神的なトラブルを抱え、その解決は容 易ではない。目標値をもとにした有効性 や効率性の安易な判定は慎みたい。 3 どの子どもにも通室が認められてい る。		
		人件費	万円	100.0	307.0	185.6	185.6		展開の方向		
	正規職員	人					拡大		委託化		
	嘱託職員	人					継続		市民参加		
	臨時職員	人	1.00	3.00	2.00	2.00	縮小		事業主体の見直し		
	合計	人	1.00	3.00	2.00	2.00	廃止		手続きの見直し		
	事業費に対する収入等の割合	%					休止		業務の見直し		
コスト	不登校児童・生徒数	人	158	221	276		統合		規模の見直し		
	単位当たりコスト	円	14,747	27,738	12,065		不登校児童・生徒数並びに中間教室 に在籍する数はここ数年増加傾向にあり、 これらの子ども達への教育の保障 や、不登校の解決の難しさを考慮しさら なる施設や設備等の充実を推進。 外国籍児童への対応策をいっそう推 進。				
	市民一人当たりコスト	円	11	27	15	15					
	中間教室在籍者数	人	55	74	75	H18目標達成率					
対前年度伸び率	%		134.5	101.4	150.0%						
中間教室からの復帰者数	人	21	22	8	H18目標達成率						
対前年度伸び率	%		104.8	36.4	40.0%						
市民協働											
備考											



平成19年度 事務事業評価票（補助金・負担金用）

事務事業名		要保護・準要保護児童生徒就学援助事業				5					
		担当部課	教育部 学校教育課	課コード	131500						
		記入者	清澤	電話	3125						
第8次基本計画の位置付け	6	心豊かに夢がふくらみ育つまち		予算科目	会計	一般会計					
	1	次代を担う子どもの生きる力を育むまちをつくる			款・項	教育費 小学校費 中学校費					
	1	子どもの視点にたった教育施策の推進をめざす			大業	要保護・準要保護児童就学援助事業費					
1 概要 (PLAN)	事業の目的		交付先	補助金・負担金等の目的、効果							
	事業内容・計画		補助金・負担金等の算定基準	交付先の具体的な活動内容							
			市民要望(ニーズ)等の状況	国・県・民間等における類似事業	根拠法令等						
			成果指標活動指標	指標名称	単位	指標の計算式等	H22目標値				
			支給人数	人		H18年度水準維持					
			支給率	%	支給件数/申請者のうち支給要件を満たす者	H18年度水準維持					
2 事業執行 (DO)	事業費 (内訳)	総事業費	万円	12,319.4	13,790.2	14,616.8	15,072.8	補助金等の性格	交付先区分	事業者等	
		事業費	万円	11,657.0	13,131.0	13,968.0	14,424.0		種類別	運営費助成	
		国・県補助金	万円	2,080.0	152.0	32.0	32.0		性質	任意的	
		市(一般)	万円	9,577.0	12,979.0	13,936.0	14,392.0		継続性	有	
		人件費	万円	662.4	659.2	648.8	648.8		終期設定	無	
		正規職員	人	0.80	0.80	0.80	0.80		評価項目	第1次評価	第2次評価
		嘱託職員	人						必要性	A	A
	交付先の内容 (内訳)	市補助金等	万円	11,657.0	13,131.0	13,968.0	14,424.0	3 評価・分析 (CHECK)	有効性	A	A
		市以外の補助金等	万円						効率性	A	C
		その他	万円						公平性	C	C
	市の補助率・負担率	%	100.0	100.0	100.0	100.0	優先性		A	B	
	コスト	支給世帯数当たり	世帯	1,255	1,376	1,743			総合評価	A	B
		単位当たりコスト	円	98,163	100,219	83,860			現在の基準においては、認定者の増加に合わせ事業費が増大している。類似都市中で支給基準が最も高位にあり、財政状況を見据えながら、絶えず事業費の増大を検証する必要がある。		
		市民一人当たりコスト	円	591	604	640	660		4 展開 (ACTION)	展開の方向	
指標	支給人数	人	1,770	1,951	2,074	H18目標達成率	拡大			社会情勢の悪化時におけるセフティネットの一つとして、今後とも重要な事業として継続。	
	対前年度伸び率	%		110.2	106.3		継続				
	支給率	%	100.0	100.0	100.0	H18目標達成率	縮小				
	対前年度伸び率	%		100.0	100.0	達成	廃止				
備考							休止				
							統合				

平成19年度 事務事業評価票（補助金・負担金用）

事務事業名		遠距離児童通学補助				6				
		担当部課	教育部 学校教育課		課コード	131500				
		記入者	田中		電話	3124				
事業期間	年度 ~ 平成 年度									
	第8次基本計画の位置付け	6	心豊かに夢がふくらみ育つまち		予算科目	会計 一般会計				
		1	次代を担う子どもの生きる力を育むまちをつくる			款・項 教育費 小学校費 中学校費				
	1	子どもの視点にたった教育施策の推進をめざす		大事業 遠距離児童通学費						
1 概要 (PLAN)	事業の目的		交付先		補助金・負担金等の目的、効果					
			自宅が学校から遠距離で、徒歩・自転車による通学が困難な児童・生徒が対象となる。スクールバス、スクールタクシーは運行委託先に、定期代扶助費は対象児童・生徒の保護者に交付する。		通学時間の短縮による児童・生徒および保護者の負担軽減が図られる。また対象地域は家屋が点在している場合が多く、遠距離児童・生徒の通学補助により犯罪の回避など危機管理の対応が容易に行え、安全に通学することができる。					
	事業内容・計画		補助金・負担金等の算定基準		交付先の具体的な活動内容					
			スクールバス：運行業務委託契約により定められた運行単価に運行日数を乗じた金額。 スクールタクシー：運行業務委託契約により定められた運行単価に運行回数を乗じた金額。 定期代扶助費：自宅に最も近い停留所から学校に最も近い停留所までの間の通学定期代。		スクールバス、スクールタクシー、路線バスにより通学する。					
		市民要望（ニーズ）等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等				
		引き続き継続の要望が高い。				松本市立小学校及び中学校の遠距離通学児童・生徒に対する通学扶助要綱				
成果指標活動指標		指標名称		単位	指標の計算式等		H22目標値			
		遠距離通学補助 利用率		%	利用児童・生徒数 / 対象児童・生徒数 × 100		100			
2 事業執行 (DO)	項目		単位	実績			見込	補助金等の性格 3 評価・分析 (CHECK) 4 展開 (ACTION)		
				H16年度	H17年度	H18年度	H19年度			
	事業費 (内訳)	総事業費		万円	3,490.3	6,926.4	7,268.8		7,766.1	交付先区分
		事業費		万円	3,407.5	6,844.0	7,187.7		7,685.0	種類別
		国・県補助金		万円						性質
		市（一般）		万円	3,407.5	6,844.0	7,187.7		7,685.0	継続性
	（職員数）	人件費		万円	82.8	82.4	81.1		81.1	最終期設定
		正規職員		人	0.10	0.10	0.10		0.10	評価項目
		嘱託職員		人						第1次評価
		臨時職員		人						第2次評価
	合計		人	0.10	0.10	0.10	0.10		必要性	
	交付先の内容 (内訳)	総事業費		万円	3,407.5	6,844.0	7,187.7		7,685.0	有効性
		市補助金等		万円	3,407.5	6,844.0	7,187.7		7,685.0	効率性
		市以外の補助金等		万円						公平性
		その他		万円						優先性
市の補助率・負担率		%	100.0	100.0	100.0	100.0	総合評価			
コスト	利用児童・生徒数		人	159	486	463	431	補助対象は一部の地域の児童・生徒に限られるが、通学の負担軽減および安全性の向上につながっており、事業の目的に適っている。		
	単位当たりコスト		円	219,516	142,519	156,994	180,188		展開の方向	
	市民一人当たりコスト		円	167	303	318	340		拡大	
指標	遠距離通学補助 利用率		%	100	100	100	H18目標達成率		継続	
	対前年度伸び率		%		100.0	100.0	H18目標達成率		縮小	
	対前年度伸び率		%		-	-			廃止	
備考									休止	
									統合	



平成19年度 事務事業評価票

事務事業名	幼稚園・小・中学校営繕	7
-------	-------------	---

事業期間	年度 ~ 平成 年度	担当部課	教育部 学校教育課	課コード	131500
		記入者	板倉	電話	3123

第8次基本計画の位置付け	6	心豊かに夢がふくらみ育つまち	予算科目	会計	一般会計
	1	次代を担う子どもの生きる力を育むまちをつくる		款・項	教育費 小学校費 中学校費 幼稚園費
	1	子どもの視点にたった教育施策の推進をめざす		大業	学校営繕費 幼稚園営繕費

事業の目的	対象（誰を・何を）		意図（どういう状態にしたいのか）		
	児童、生徒及び教職員		学校施設の適切な維持管理により施設の耐久性の確保を図ります。		

事業内容・計画	内 容		基礎となる計画		
	各学校配当予算により雨漏り、施設の損耗など小規模な修繕を実施します。				
	市民要望（ニーズ）等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等

成果指標活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等		H22目標値
	施設の維持修繕		校	対象施設 / 全体対象施設		48.0

項目	単位	実績			見込		3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価	
		H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H18目標達成率					H19目標達成率
2 事業執行 (DO)	事業費 (内訳)	総事業費	万円	14,664.0	15,567.8	13,167.7	13,751.2	4 展開 (ACTION)	必要性	AA	A
		事業費	万円	14,498.4	15,403.0	13,005.5	13,589.0		有効性	A	A
		国・県補助金	万円						効率性	A	B
		市（一般）	万円	14,498.4	15,403.0	13,005.5	13,589.0		公平性	A	B
		市（起債）	万円						優先性	A	B
		その他（ ）	万円						総合評価	A	B
	減価償却費	万円					適切な維持管理により施設の耐久性の向上が図られます。		展開の方向	展開の手段	
	人件費	万円	165.6	164.8	162.2	162.2			拡大		委託化
	正規職員	人	0.20	0.20	0.20	0.20			継続		市民参加
	嘱託職員	人							縮小		事業主体の見直し
臨時職員	人					廃止		手続きの見直し			
合計	人	0.20	0.20	0.20	0.20	休止		業務の見直し			
事業費に対する収入等の割合	%					統合		規模の見直し			
コスト	対象施設	校	37	48	48	48	「物を大切に作る心」を理念に、限られた予算の中で工夫をしながら施設の維持管理を実施。				
	単位当たりコスト	円	3,963,243	3,243,292	2,743,271	2,864,833					
	市民一人当たりコスト	円	703	682	576	602					
指標	施設の維持修繕	校	37	48	48	H18目標達成率					
	対前年度伸び率	%		129.7	100.0	100.0%					
						H19目標達成率					
	対前年度伸び率	%		-	-						
市民協働											
備考											

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名	小・中学校大規模改造事業	8
-------	--------------	---

事業期間	年度 ~ 平成 年度	担当部課	教育部 学校教育課	課コード	131500
		記入者	板倉	電話	3123

第8次基本計画の位置付け	6	心豊かに夢がふくらみ育つまち	予算科目	会計	一般会計
	1	次代を担う子どもの生きる力を育むまちをつくる		款・項	教育費 小学校費 中学校費
	1	子どもの視点にたった教育施策の推進をめざす		大事業	大規模改造事業費

1 概要 (PLAN)	事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
		小中学校の児童、生徒及び教職員	学校施設の損耗、機能低下に対する整備を行うことで教育環境の向上を図ります。

1 概要 (PLAN)	事業内容・計画	内 容	基礎となる計画
		1 基本方針 (1) 学校全面改築は、60年の耐用年数を基準に行います。 (2) 築30年を節目に大規模改造(屋根、外壁、内部)を行うこととし、設備の全面更新も併せて行います。 (3) その後の改造については、築45年を節目に必要な部位のみ部分的改造を行います。 (4) 対象校48施設(幼3 小30 中15)	
		市民要望(ニーズ)等の状況	国・県・民間等における類似事業
		早期整備が望まれています。	根拠法令等

1 概要 (PLAN)	成果指標	指標名称	単位	指標の計算式等	H22目標値
	活動指標	改造割合	%	改造実施校 / 要改造校	18.0

2 事業執行 (DO)	事業費	項目	単位	実績			見込	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価
				H16年度	H17年度	H18年度	H19年度				
		総事業費	万円	1,700.6	1,333.8	86,563.2	71,012.2		必要性	AA	AA
		事業費	万円	1,535.0	1,169.0	85,590.0	70,039.0		有効性	A	A
		(内訳)							効率性	A	B
		国・県補助金	万円			13,332.0	15,308.0		公平性	B	B
		市(一般)	万円	1,535.0	1,169.0	39,018.0	19,501.0		優先性	A	B
		市(起債)	万円			33,240.0	35,230.0		総合評価	A	A
		その他( )	万円						学校施設の損耗、機能低下に対する復旧措置及び用途変更に伴う改造により教育環境の改善及び建物耐久性の確保が図られます。		
		減価償却費	万円								
		人件費	万円	165.6	164.8	973.2	973.2				
		(職員数)									
		正規職員	人	0.20	0.20	1.20	1.20				
		嘱託職員	人								
		臨時職員	人								
合計	人	0.20	0.20	1.20	1.20						
事業費に対する収入等の割合	%										

2 事業執行 (DO)	コスト	改造校	%	1	0	2	2	4 展開 (ACTION)	展開の方向	展開の手段
		単位当たりコスト	円	17,006,000		432,816,000	355,061,000		拡大	委託化
		市民一人当たりコスト	円	82	58	3,790	3,109		継続	市民参加
	改造割合	%	8.0	8.0	8.0	H18目標達成率	縮小		事業主体の見直し	
	対前年度伸び率	%		100.0	100.0	44.4%	廃止		手続きの見直し	
	対前年度伸び率	%		-	-	-	休止		業務の見直し	
						H18目標達成率	統合	規模の見直し		

市民協働	
備考	施設の老朽化が進んでいることから事業手法、事業ベースの見直しを検討。

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名		地震防災緊急事業						9			
		担当 部課	教育部 学校教育課		課コード	131500					
		記入者	板倉		電話	3123					
第8次基本 計画の位置 付け	6	心豊かに夢がふくらみ育つまち			予算 科目	会計	一般会計				
	1	次代を担う子どもの生きる力を育むまちをつくる				款・項	教育費 小学校費 中学校費				
	1	子どもの視点にたった教育施策の推進をめざす				大業	地震防災緊急事業費				
1 概要 (PLAN)	事業の 目的	対象(誰を・何を) 児童、生徒、教職員及び地域住民			意図(どういう状態にしたいのか) 事業の実施により、地震発生時の児童生徒の安全確保を図り、併せて地域住民の緊急避難場所として有効に機能させます。						
	事業内容 ・計画	内 容 1 対象となる学校施設(校舎・体育館) 新耐震設計基準(昭和56年6月施行)以前に設計されている施設(幼2、小19、中7) 2 事業手法 1校あたりおおむね3ヵ年で、1年目耐震診断、2年目実施設計、3年目耐震補強工事 ただし、診断で基準値(Is値0.7)以上のものは、その時点で事業完了			基礎となる計画						
		市民要望(ニーズ)等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等					
		糸川川静岡構造線断層系で大規模地震が起きる可能性が指摘されており、地震防災上緊急性が高いものです。また、市PTA連合会から平成12年度に、地震防災対策を最優先するよう陳情がなされるなど、市民要望は強いものがあります。			地震防災緊急事業5ヶ年計画 長野県耐震改修促進計画		建築物の耐震改修の促進に関する法律				
成果指標 活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等			H22目標値				
	耐震診断率		%	診断実施校 / 対象校			100.0				
耐震改修率		%	改修実施校 / 対象校			100.0					
2 事業執行 (DO)	内 訳 (事業費 職員数)	項目	単位	実 績			見込	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価
				H16年度	H17年度	H18年度	H19年度				
		総事業費	万円	49,047.2	20,481.4	6,361.3	9,717.8		必要性	AA	AA
		事業費	万円	47,888.0	19,327.8	5,550.3	9,474.5		有効性	A	A
		国・県補助金	万円	15,696.9	6,168.7	2,655.5	3,022.0		効率性	A	B
		市(一般)	万円	12,141.1	969.1	2,160.8	2,522.5		公平性	A	A
		市(起債)	万円	20,050.0	12,190.0		3,930.0		優先性	AA	AA
		その他(基金)	万円			734.0			総合評価	A	A
		減価償却費	万円						地震発生時に、児童・生徒の安全確保を図ると共に、緊急時の避難場所としても有効に機能できることから事業効果は全市民に及ぶものです。		
		人件費	万円	1,159.2	1,153.6	811.0	243.3				
	正規職員	人	1.40	1.40	1.00	0.30					
	嘱託職員	人									
	臨時職員	人									
	合計	人	1.40	1.40	1.00	0.30					
	事業費に対する収入等の割合	%			13.2						
コスト	対象校数	校	19	10	8	4	4 展開 (ACTION)	展開の方向	展開の手段		
	単位当たりコスト	円	25,814,316	20,481,400	7,951,625	24,294,500		拡大	委託化		
	市民一人当たりコスト	円	2,352	897	278	425		継続	市民参加		
指標	耐震診断率	%	75	82	100	H18目標達成率	縮小	事業主体の見直し			
	対前年度伸び率	%		109.3	122.0	100.0%	廃止	手続きの見直し			
	耐震改修率	%	42.0	75.0	78.0	H18目標達成率	休止	業務の見直し			
	対前年度伸び率	%		178.6	104.0	78.0%	統合	規模の見直し			
市民協働	緊急性が高いことから、目標期間内に計画的に推進。 なお、平成22年には、全ての対象校が完了することから休止。										
備考											

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名	トイレ環境整備事業	10
-------	-----------	----

事業期間	平成 12 年度 ~ 平成 18 年度	担当部課	教育部 学校教育課	課コード	131500
		記入者	板倉	電話	3123

第8次基本計画の位置付け	6	心豊かに夢がふくらみ育つまち	予算科目	会計	一般会計
	1	次代を担う子どもの生きる力を育むまちをつくる		款・項	教育費 小学校費
	1	子どもの視点にたった教育施策の推進をめざす		大事業	トイレ環境整備事業

1 概要 (PLAN)	事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	学校トイレ(小、中)の環境を整備するもの。「5K(臭い、汚い、暗い、怖い、壊れている)トイレ」を「3A(明るい、安心して、愛する)トイレ」に改修するもの。	5つの目標 1 臭くないトイレ(衛生器具、床構造の改修) 2 洋式のあるトイレ(大便器の約半数を洋式化) 3 人にやさしいトイレ(身体の不自由な児童生徒、高齢者に配慮) 4 明るいトイレ(床、壁、天井の全面改修) 5 子供たちのトイレ(色彩計画において児童生徒の要望反映)	

1 概要 (PLAN)	事業内容・計画	内 容	基礎となる計画
	1 基本理念 子供たちにとって「明るく、安心して、愛するトイレ」に改修する。 2 事業目標 (1)臭くないトイレ…臭気対策を最優先とし、便器等の衛生器具を更新するなど、臭いの元を断つ。 (2)洋式のあるトイレ…洋式便器を導入。(全体の約半数) (3)人にやさしいトイレ・手足を汚した子ども、地域の高齢者等が簡易に使える広さ、設備(引き戸、手すり等) (4)明るいトイレ…床、壁、天井、間仕切りブース等の内装材も全面改修、照明設備の更新等。 (5)子どもたちのトイレ・衛生器具、内装材等の色彩計画、出入口部のサイン表示等に子どもたちの声を最大限反映する。 3 設計施工一括発注の業者提案方式の採用・実施 高品質かつ低コストを期待 4 計画 H12:小1、中1 H13:小6、中3 H14:小6、中3 H15:小6、中4 H16:幼3 H18:小1	市民要望(ニーズ)等の状況 1 学校等の要望 トイレの臭気対策を主に、学校要望(校長会、PTA等)が多い。 2 事前アンケート(対象 児童生徒) トイレ改修を望む声が多い。	国・県・民間等における類似事業 1 国庫補助事業の新設 文部科学省において、トイレ改造事業が新たに補助事業として認定。 2 トイレフォーラムの開催

1 概要 (PLAN)	成果指標	指標名称	単位	指標の計算式等	H22目標値
	活動指標	整備学校数	校		34

2 事業執行 (DO)	事業費	項目	単位	実 績			見込
				H16年度	H17年度	H18年度	H19年度

2 事業執行 (DO)	事業費	総事業費	万円	2,816.4		1,869.4		3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価
		事業費	万円	1,822.8		896.2			必要性	A	A
		国・県補助金	万円						有効性	A	A
		市(一般)	万円	1,822.8		896.2			効率性	A	B
		市(起債)	万円						公平性	AA	B
		その他( )	万円						優先性	A	B
		減価償却費	万円						総合評価	A	B
		人件費	万円	993.6		973.2			事業の目標どおりの実施により、3A(明るくて・安心して・愛する)トイレのコンセプトどおり実現しており、21世紀を担う児童生徒への事業効果は大きい。		
		正規職員	人	1.20		1.20					
		嘱託職員	人								
臨時職員	人										
合計	人	1.20		1.20		4 展開 (ACTION)	展開の方向	展開の手段			
事業費に対する収入等の割合	%						拡大	委託化			
対象校数	校	3		1			継続	市民参加			
単位当たりコスト	円	9,388,000		18,694,000			縮小	事業主体の見直し			

2 事業執行 (DO)	コスト	市民一人当たりコスト	円	135		82		4 展開 (ACTION)	廃止	手続きの見直し		
		整備学校数	校	33		34	H18目標達成率		休止	業務の見直し		
		対前年度伸び率	%		0.0	-	100.0%		H18目標達成率	統合	規模の見直し	
		対前年度伸び率	%		-	-	-			平成18年度で対象校整備を完了。		

市民協働	子どもたちの参加
備考	



平成19年度 事務事業評価票（補助金・負担金用）

事務事業名	私立幼稚園運営費補助事業	11
-------	--------------	----

		担当部課	教育部 学校教育課	課コード	131500						
		記入者	塚田	電話	3122						
第8次基本計画の位置付け	6	いつでも健康ではつらつと生きるまち	予算科目	会計	一般会計						
	1	みんなで子育てを支えるまちをつくる		款・項	教育費 幼稚園費						
	1	保育サービス・保育環境の充実をめざす		大業	補助金						
1 概要 (PLAN)	事業の目的		補助金・負担金等の目的、効果								
	私立幼稚園設置者		公立幼稚園と私立幼稚園の保護者負担の格差を是正、保育料の値上げの抑制、就学前教育の場として私立幼稚園の振興を図る								
	事業内容・計画		交付先の具体的な活動内容								
	定額分1園70万円+松本市居住の園児1名につき2万7千円		幼児を保育し、集団生活の中から、その心身の発達を養い育て、本や音楽等から創造性を養い育てることを目的とする。幼稚園に入園することのできる者は、満3才から、小学校就学の始期に達するまでの幼児である。								
市民要望(ニーズ)等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等							
				松本市補助金交付要綱 私立幼稚園運営補助金交付要綱							
成果指標活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等		H22目標値					
	私立幼稚園保育料月額		円	私立13園の平均		現状維持					
		私立幼稚園園児数(松本市居住)		人	現状維持						
2 事業執行 (DO)	事業費 (内訳)	総事業費	万円	5,851.8	8,206.4	5,816.1	5,905.1	補助金等の性格	交付先区分	事業者等	
		事業費	万円	5,769.0	8,124.0	5,735.0	5,824.0		種類別	運営費助成	
		国・県補助金	万円						性質	任意的	
		市(一般)	万円	5,769.0	8,124.0	5,735.0	5,824.0		継続性	有	
		人件費	万円	82.8	82.4	81.1	81.1		終期設定	無	
		正規職員	人	0.10	0.10	0.10	0.10		評価項目	第1次評価	第2次評価
		嘱託職員	人						必要性	A	A
	(職員数)	臨時職員	人					有効性	A	B	
		合計	人	0.10	0.10	0.10	0.10	効率性	A	A	
								公平性	B	B	
	交付先の内容 (内訳)	総事業費	万円	147,738.0	207,591.0	125,593.0	124,251.0	CHECK	優先性	B	B
		市補助金等	万円	5,769.0	8,124.0	5,735.0	5,824.0		総合評価	A	B
		市以外の補助金等	万円	28,336.0	28,000.0	29,329.0	29,784.0		園児1人当たりの補助金額32千円は、同様の制度を有する県内他市中最高値(2位伊那市28千円、3位長野市27千円、4位飯田市15千円)にあり、17年度に園児割補助金額を見直し(減額)ました。今後とも財政状況を見据えながら検証する必要があります。		
		その他	万円	113,633.0	171,467.0	90,529.0	88,643.0				
	市の補助率・負担率	%	3.9	3.9	4.6	4.7					
	コスト	対象私立幼稚園児数	人	1,598	1,820	1,787	1,696	4	展開の方向		
		単位当たりコスト	円	36,620	45,090	32,547	34,818		拡大		
市民一人当たりコスト		円	281	359	255	259	継続				
指標	私立幼稚園保育料月額	円	23,915	23,915	23,915	H18目標達成率	展開(ACTION)	縮小			
	対前年度伸び率	%		100.0	100.0			廃止			
	私立幼稚園園児数(松本市居住)	人	1,801	1,843	1,788	H18目標達成率		休止			
	対前年度伸び率	%		102.3	97.0			統合			
備考											

## 平成19年度 施策評価票

政策の柱	心豊かに夢がふくらみ育つまち	主要施策目標	多様で特色ある豊かな文化芸術が花開くまちをつくる
<b>市民の参画や多彩な活動を促し、豊かな文化芸術の振興をめざす</b>			施策番号 6-3-1

主管課	政策部 文化振興課		関係部課	政策部：文化振興課、国際音楽祭推進課 教育部：教育政策課、生涯学習課、松本城管理事務所、美術館					
記入者	松倉	電話	3151						
施策の概要	目的			対象					
	市民の参画や多彩な活動が展開できる場と機会の充実を図り、活気があって、心が安らぎ、市民に親しまれる豊かな文化芸術活動の振興を目指します。			市民、文化芸術団体、観光客					
	現状			展開の方針					
	18年度の市民芸術館・音楽文化ホール・美術館の利用者総数は約58万人で、市民の文化芸術活動も活発に行われています。 指定管理者制度の導入で、全国の公立文化施設では予算が削減される傾向にあります。松本市では現状維持とされています。			平成18年1月24日に策定した「松本市文化芸術振興基本方針」に基づき、関係各課が施策・事業として具体化し実施します。					
市民効果指標	指標名		単位	H16年度	H17年度	H18年度	H22年度	達成率	
	市民芸術館の来館者数		人	167,283	203,248	209,905	223,572	93.9%	A
	音楽文化ホールの利用人数		人	125,453	124,274	130,035	136,701	95.1%	A
	美術館の観覧者・施設利用者数		人	182,085	134,400	239,821	147,840	162.2%	AA
第8次基本計画目標値	サイトウ・キネン・フェスティバル市内協賛社数		社	32	32	36	35	102.9%	A
	音楽や芸術活動に触れる機会が十分にあると思う市民の割合		%	43.5		(43.5)	50.0	87.0%	B
	文化芸術活動に対する市民の満足度		%	46.3		(46.3)	50.0	92.6%	A
市民満足度調査結果	項目			そう思う割合		ややそう思う割合		得点	順位
	音楽や芸術活動に触れる機会が十分にある			14.4%		29.1%		3.12	34/83
	文化芸術活動に対する満足度			9.4%		36.9%		3.32	4/16
補足・説明等									

### 主要事務事業の評価結果

	上段：事務事業名	実績及び見込（上段：事業費（万円）、下段：職員数）				評価結果		展開の方向	今後の方向性
	下段：担当課名	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	1次	2次		
1	まつもと演劇祭補助金	30.0	100.0	30.0	30.0	B	B	継続	演劇団体等と市民芸術館が連携し、演劇のレベルアップを図る
	文化振興課	0.01	0.01	0.01	0.01				
2	市民芸術館の事業費補助金	10,000.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0	A	B	継続	市民の要望を踏まえ、分野・収支のバランスに配慮しながら実施
	文化振興課	35.00	43.00	43.00	43.00				
3	音楽文化ホールの管理運営	10,257.0	10,209.6	10,539.2	10,839.0	A	A	継続	指定管理者である財団の改革と管理体制の見直し
	文化振興課	7.90	7.90	7.90	8.80				
4	国際音楽祭事業	16,964.0	16,637.0	16,501.0	17,081.0	A	B	継続	音楽文化の拡大と支援体制の充実を推進
	国際音楽祭推進課	5.00	5.00	5.00	5.00				
5	芸術文化振興基金積立	32.0	37.0	358.0	57.0	B	B	継続	施設の改修費用等の財源として、確実かつ有利な運用を図る
	教育政策課	0.01	0.01	0.01	0.01				
6	松本クラフト推進協会補助金	70	70.0	70.0	70.0	B	B	継続	交付先の自主性尊重しながら内容を充実
	生涯学習課	0.01	0.01	0.01	0.01				
7	芸術文化祭事業	1,000.0	450.0	450.0	450.0	B	B	継続	公募方法を検討し市民参加の拡大、市民ニーズを的確に反映
	生涯学習課	1.32	0.91	0.83	0.83				
8	お城盆踊り事業	60.0	60.0	60.0	60.0	A	B	継続	内容・実施方法の見直しを検討
	生涯学習課	0.02	0.02	0.02	0.02				
9	国宝松本城新能	600.0	600.0	600.0	600.0	A	B	継続	能・狂言の普及、観光客の増加に努め、内容や負担等を検討
	松本城管理事務所	0.30	0.30	0.30	0.30				
10	美術館の管理運営	25,810.0	23,744.0	22,171.0	24,914.0	A	A	継続	市民モニター制度の試行、補助金・協賛金等の財源確保を図る
	美術館	15.00	16.00	16.00	15.00				

区 分	施策の事業展開							6-3-1
	H17まで	H18	H19	H20	H21	H22	H22以降	備 考
芸術の振興と施設の有効活用	まつもと演劇祭補助金(文化振興課)							B 継続
	市民芸術館の管理運営(文化振興課)							
	市民芸術館の事業費補助金(文化振興課)							B 継続
	音楽文化ホールの管理運営(文化振興課)							A 継続
	芸術文化振興基金積立(教育政策課)							B 継続
	芸術文化祭事業(生涯学習課)							B 継続
	美術館の管理運営(美術館)							A 継続
国際交流の促進	国際音楽祭事業(国際音楽祭推進課)							B 継続
生活文化の普及	松本クラフト推進協会補助金(生涯学習課)							B 継続
	お城盆踊り事業(生涯学習課)							B 継続
文化財の保存・活用	国宝松本城新能(松本城管理事務所)							B 継続
顕彰	文化芸術表彰事業(文化振興課)							

評価ランク	評価理由	今後の方向性	市民委員会施策提言
	<p>芸術館、美術館以外は10年以上継続の事務事業であり、コストや実績に大きな変動はなく、ほぼ一定している。</p> <p>18年度の市民芸術館・美術館・音楽文化ホールの3館の利用者総数は579,761人で、17年度に対して125.5%の伸び率であり、平成22年度の計画目標10%を既に上回っている。</p> <p>ただし、人数中心の評価は人気優先の催事への偏りを招き、多彩な文化芸術の振興にはつながらない。</p> <p>文化施設の重要な使命は、文化芸術の振興、人材育成、地域の活性化など、多岐にわたり、評価には長い期間を要する。</p>	<p>「21世紀は心の時代」とも言われ、文化芸術が果たすべき役割は重要であり、市民の声を汲み上げ、市民参加の元、関係団体や企業などとも連携を深め、人々に多彩な文化芸術を提供し、多くの感動や刺激を与え、幅広い分野で、質の向上に努めていく。</p> <p>長い歴史・経過のある事務事業については、観客・参加者数が減少し、マンネリが懸念されるものもあり、内容や実施方法について、見直しを図る。</p> <p>文化施設の管理運営については、指定管理者制度導入の是非、指定管理者である(財)松本市教育文化振興財団のあり方を含め、全国の動向を見ながら、改革を進めていく。</p>	<p>近年、文化施設の充実が進み、市民が文化芸術に親しむ環境が整備されつつあることは歓迎すべきことです。</p> <p>しかしながら、文化芸術の振興とは、成果が短期的にあらわれるものではない上に、その測定には難しさがつきまといます。また、財政的に厳しい状況を迎えたならば、風当たりが強まる分野でもありましょう。</p> <p>この分野に関わる平成19年度の総事務事業費は約13億円(一般会計予算の約1.6%)で、その大半が維持管理費ですが、財政事情を鑑みますと、この数字には厳しい印象を抱かざるを得ません。「質」を確保するための何らかのアクションが、当市に求められる時期が訪れているのではないのでしょうか。</p> <p>本分野で成果を得るための最重要要素は、市民の同意と参加意識です。従って、活動目的や管理運営の実態に関して、透明性が高く、理解しやすい広報が必要不可欠であることは言うまでもありません。</p> <p>特に、文化芸術活動の中核ともいえる市民芸術館の事業につきましては、一部の市民の関わりが深まっている一方で、新たな広がりや今ひとつ実感できないように感じられてなりません。そのためには、取りまとめている松本市教育文化振興財団の改革をすることと、市民の意見を汲み上げる制度を設けることが望まれます。</p> <p>最後に、地域にある施設を見直し、もっと利用しやすくすること、身近な場所で音楽等が楽しめるような地区における小ホール等を整備することを望みます。生涯学習施設が、地域一体化の推進や地域の活性化に果たす役割は極めて大きく、生活に密着したところから身近な芸術文化の振興を推進することなくして、郷土の芸術文化の成立はあり得ないと考えられるからです。</p>

施策及び事務事業の体系

総合評価

平成19年度 事務事業評価票（補助金・負担金用）

事務事業名		まつもと演劇祭補助金				1					
事業期間		平成 8 年度 ~ 平成 年度		担当 部課	政策部 文化振興課	課コード	023000				
第8次基本 計画の位置 付け		6	心豊かに夢がふくらみ育つまち		記入者	松倉	電話				
		3	多様で特色ある文化芸術が花開くまちをつくる		予算 科目	会計 一般会計					
		1	市民の参画や多彩な活動を促し、豊かな文化芸術の振興をめざす		款・項	総務費 総務管理費					
					大事業	文化振興推進費					
1 概要 (PLAN)	事業の 目的	交付先 まつもと演劇祭実行委員会		補助金・負担金等の目的、効果 中信地区の演劇文化の向上、市民啓蒙を目的に、毎年「まつもと演劇祭」を開催している実行委員会に対し、事業費の一部を補助するもの。毎年開催により、地元劇団のレベルアップ、演劇愛好者の増加を図ることができる。							
	事業内容 ・計画	補助金・負担金等の算定基準 定額30万円（第10回のみ100万円）		交付先の具体的な活動内容 第12回まつもと演劇祭の開催 期日：平成19年11月18日（日） 会場：市民芸術館 内容：8劇団が各30分の公演（1日1回限り）							
		市民要望（ニーズ）等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等					
				池袋演劇祭（東京都豊島区）		松本市補助金交付規則					
成果指標 活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等		H22目標値					
	来場者数		人			2,675					
2 事業執行 (DO)	事業費 (内訳) (職員数)	総事業費	万円	38.3	108.2	38.1	38.1	補助金等の 性格 3 評価・分析 (CHECK)	交付先区分	市民団体等	
		事業費	万円	30.0	100.0	30.0	30.0		種類別	事業費助成	
		国・県補助金	万円						性質	任意的	
		市（一般）	万円	30.0	100.0	30.0	30.0		継続性	有	
		人件費	万円	8.3	8.2	8.1	8.1		終期設定	無	
		正規職員	人	0.01	0.01	0.01	0.01		評価項目	第1次評価	第2次評価
		嘱託職員	人						必要性	A	B
	臨時職員	人					有効性	C	C		
	合計	人	0.01	0.01	0.01	0.01	効率性	C	C		
	交付先の 内容 (内訳)	総事業費	万円	350.0	505.0	297.0	320.0	公平性	B	B	
		市補助金等	万円	30.0	100.0	30.0	30.0	優先性	B	B	
		市以外の補助金等	万円	70.0	60.0	80.0	80.0	総合評価	B	B	
		その他	万円	250.0	345.0	187.0	210.0	1 平成16年 8月29日に市民芸術館が開館。18年度の演劇公演は計52回 2 演劇祭の来場者数は、年々減少 3 18年度は1公演が中止となり、料金の払い戻しが発生 4 平成19年4月に「まつもと劇団連合会」から「まつもと演劇連合会」に名称変更し、規約も改正			
	市の補助率・負担率	%	8.6	19.8	10.1	9.4	展開の方向				
	コスト	公演数	公演	26	18	15	8	拡大	地元演劇団体、民間の劇場、市民芸術館との連携・交流を深め、演劇のレベルアップを図り、「演劇のまち・松本」の知名度の向上を推進。		
		単位当たりコスト	円	14,723	60,133	25,407	47,638	継続			
		市民一人当たりコスト	円	2	5	2	2	縮小			
指標	来場者数	人	2,432	1,818	1,164	H18目標達成率	廃止				
	対前年度伸び率	%		74.8	64.0	43.5%	休止				
	対前年度伸び率	%		-	-	-	統合				
備考											



平成19年度 事務事業評価票（補助金・負担金用）

事務事業名		市民芸術館の事業費補助金				2						
		担当部課	政策部 文化振興課	課コード	023000							
		記入者	高橋	電話	1270							
事業期間	平成 16 年度 ~ 平成 年度		予算科目		会計 一般会計							
第8次基本計画の位置付け	6	心豊かに夢がふくらみ育つまち	予 算 科 目	款・項	総務費 総務管理費							
	3	多様で特色ある文化芸術が花開くまちをつくる		大	まつもと市民芸術館事業費							
	1	市民の参画や多彩な活動を促し、豊かな文化芸術の振興をめざす										
1 概要 (PLAN)	事業の目的		補助金・負担金等の目的、効果									
	(財)松本市教育文化振興財団		市民福祉の増進、市民自らが文化芸術を創造し、享受できる場を提供することにより、本市の文化芸術の振興を図る。									
	事業内容・計画		補助金・負担金等の算定基準 交付先の具体的な活動内容									
	定額補助(1億円)		市民利用とのバランスをとりながら、過去の実績を考慮しつつ、特色ある事業を展開。特に19年度は、市民参加の企画やアウトリーチなど、地域との関係をより深める。 19年度の自主事業は、松本発の創造型事業4、鑑賞・招聘型事業17、教育普及・市民参加型事業11									
市民要望(ニーズ)等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等								
<ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;市民芸術館運営審議会の提言書&gt;より抜粋</li> <li>1 鑑賞・招聘型事業は、内容が濃く評価も高い。</li> <li>2 創造発信型事業は、館の方向性や芸術監督の問題と同様、今後の課題である。</li> <li>3 教育普及・育成型事業は、市民芸術館の重点事業として充実を図る。</li> </ul>		長野県松本文化会館(18年度より、指定管理者の(株)コンベンションリンクージ・(株)ビジナナルサービスセンター共同企業体が管理運営)		松本市文化芸術振興条例 まつもと市民芸術館条例								
成果指標 活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等			H22目標値					
	ホール利用率		%	市主催事業を除くホール利用日数/利用可能日数			70.0					
観客動員数		人				80,000						
2 事業執行 (DO)	事業費 (内訳) (職員数)	項目	単位	実績			見込	補助金等の性格	交付先区分	事業者等		
				H16年度	H17年度	H18年度	H19年度			種類別	事業費助成	
		総事業費	万円	17,207.0	18,575.0	18,588.0	18,588.0		3	性質	任意的	
		事業費	万円	10,000.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0			継続性	有	
		国・県補助金	万円							終期設定	無	
		市(一般)	万円	10,000.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0			評価項目	第1次評価	第2次評価
		人件費	万円	7,207.0	8,575.0	8,588.0	8,588.0			必要性	AA	A
	正規職員	人					有効性	A		A		
	嘱託職員	人	13.00	13.00	13.00	13.00	効率性	B		B		
	臨時職員	人	22.00	30.00	30.00	30.00	公平性	A	B			
	合計	人	35.00	43.00	43.00	43.00	優先性	B	B			
	交付先の内容 (内訳)	総事業費	万円	33,979.9	25,280.5	36,280.9	22,000.0	4	総合評価	A	B	
		市補助金等	万円	10,000.0	10,000.0	10,000.0	10,000.0		展開(ACTION)	展開の方向	運営審議会提言書を活かし、市民の多様な要望を参考に、ジャンルや収支のバランスに配慮しつつ、芸術作品から大衆エンターテイメントまで、幅広い分野の公演、教育普及事業等を実施。	
		市以外の補助金等	万円	23,841.9	15,119.5	25,983.7	11,900.0			拡大		
		その他	万円	138.0	161.0	297.2	100.0			継続		
市の補助率・負担率	%	29.4	39.6	27.6	45.5	縮小						
コスト	利用者総数	人	167,283	203,248	209,905	215,000	4	廃止				
	単位当たりコスト	円	1,029	914	886	865		休止				
	市民一人当たりコスト	円	825	813	814	814		統合				
指標	ホール利用率	%	58.0	62.1	62.9	H18目標達成率	4	統合				
	対前年度伸び率	%		107.0	101.3	89.8%						
	観客動員数	人	33,533	44,821	60,296	H18目標達成率						
	対前年度伸び率	%		133.7	134.5	75.4%						
備考												

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名	音楽文化ホールの管理運営	3
-------	--------------	---

事業期間	昭和 60 年度 ~ 平成 年度	担当 部課	政策部 文化振興課	課コード	023000
		記入者	征矢	電話	47-2004

第8次基本計画の位置付け	6	心豊かに夢がふくらみ育つまち	予算科目	会計	一般会計
	3	多様で特色ある文化芸術が花開くまちをつくる		款・項	総務費 総務管理費
	1	市民の参画や多彩な活動を促し、豊かな文化芸術の振興をめざす		大事業	音楽文化ホール管理運営費

1 概要	事業の目的	対象（誰を・何を）	意図（どういう状態にしたいのか）
	松本市及び周辺の音楽愛好家に、活動と鑑賞の場を提供し、音楽文化を振興する。		音楽団体の活動拠点、質の高い音楽鑑賞の場として、幅広く利用され、高い利用率を誇る。 日常生活でクラシック音楽等に親しむ市民が増え、松本市の音楽レベルが向上し、多くの優れた演奏家が育つ。

1 概要	事業内容・計画	内 容		基礎となる計画	
		1 国内外の優れた演奏家を招聘し、最高水準のクラシック音楽を提供するとともに、出演者によるクリニック等を開催し、地元の若手演奏家の技術向上を図る。 2 利用団体、地元演奏家、地域と連携し、自主・共催事業を開催し、音楽活動の活性化、レベルアップ、地域交流を図る。 3 専属オルガニストによる演奏会・講習会を開催し、パイプオルガンをPRする。 4 19年度は、100周年記念招聘事業3、経常招聘事業4、自主事業8、共催事業6、講習会等4			
		市民要望（ニーズ）等の状況	国・県・民間等における類似事業	根拠法令等	
		利用率が高く、練習室等の増設要望あり	長野県松本文化会館	松本市文化芸術振興条例、松本市音楽文化ホール条例	

成果指標 活動指標	指標名称	単位	指標の計算式等	H22目標値
	年間利用者総数	人		136,700

項 目	単位	実 績			見込	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価				
		H16年度	H17年度	H18年度	H19年度								
2 事業執行 (DO)	事業費 (内訳)	総事業費	万円	16,712.9	16,657.9	16,968.8	17,453.5	必要性	AA	A			
		事業費	万円	10,257.0	10,209.6	10,539.2	10,839.0	有効性	A	A			
		国・県補助金	万円					効率性	A	B			
		市（一般）	万円	6,194.6	6,496.9	6,525.5	7,135.0	公平性	A	A			
		市（起債）	万円					優先性	B	B			
		その他（事業収入等）	万円	4,062.4	3,712.7	4,013.7	3,704.0	総合評価	A	A			
	減価償却費	万円	3,292.7	3,292.7	3,292.7	3,292.7	数少ない音楽専用ホールとして、18年度の利用率（利用日数÷利用可能日数）は、主ホール99.3%、小ホール98.3%、練習室100%です。						
	（職員数）	人件費	万円	3,163.2	3,155.6	3,136.9	3,321.8	展開の方向					
		正規職員	人	1.90	1.90	1.90	1.80				展開の手段		
		嘱託職員	人	6.00	6.00	6.00	7.00						
臨時職員		人											
合計	人	7.90	7.90	7.90	8.80	拡大		委託化					
事業費に対する収入等の割合	%	39.6	36.4	38.1	34.2	継続		市民参加					

コスト	単位	実 績			見込	4 展開 (ACTION)	
		H16年度	H17年度	H18年度	H19年度		
年間利用者数	人	125,453	124,274	130,035	130,000	休止	業務の見直し
単位当たりコスト	円	1,332	1,340	1,305	1,343		
市民一人当たりコスト	円	802	729	743	764		
年間利用者総数	人	125,453	124,274	130,035	H18目標達成率		
対前年度伸び率	%		99.1	104.6	95.1%	統合	規模の見直し
対前年度伸び率	%		-	-	H18目標達成率		

市民協働	・ハーモニーメイト（友の会）ボランティアによる主催事業への応援等 ・音楽団体との共催事業の実施
備考	質のよいものを安価で、また他では扱わないものも提供する使命もあり、コスト優先のものさしだけでは計れない面があります。

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名	国際音楽祭事業	4
-------	---------	---

担当部課	政策部 国際音楽祭推進課	課コード	023500
記入者	寺沢	電話	3161

第8次基本計画の位置付け	6	心豊かに夢がふくらみ育つまち	予算科目	会計	一般会計
	3	多様で特色ある文化芸術が花開くまちをつくる		款・項	総務費 総務管理費
	1	市民の参画や多彩な活動を促し、豊かな文化芸術の振興をめざす		大事業	国際音楽祭事業費

1 概要 (PLAN)	事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	事業内容・計画	内容	基礎となる計画

事業の目的	世界的指揮者・小澤征爾氏率いる「サイトウ・キネン・オーケストラ」による「国際音楽祭」の開催及び各種関連事業の実施		フェスティバルの支援だけでなく、市独自の関連事業等を展開し、音楽文化の振興と地域の活性化を図ります。		
	事業内容・計画		基礎となる計画		
事業内容・計画	「2007サイトウ・キネン・フェスティバル松本」の開催。期間は、8月15日から9月9日まで。19年度の公式公演は、オペラ「スペードの女王」4、オーケストラコンサート4、武満徹メモリアルコンサート1、ふれあいコンサート2、若い人のための「サイトウ・キネン室内楽勉強会」2。関連事業は、市制施行100周年記念野外コンサート1、青少年のためのオペラ4、子どものための音楽会8など。		基礎となる計画		
	市民要望(ニーズ)等の状況		国・県・民間等における類似事業		
	地方では鑑賞機会の少ない、オペラ公演の開催要望が多く寄せられています。		・長野県も共催の立場で支援。 ・国内の国際音楽祭は、宮崎県、東京都北区などで開催		
成果指標活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等	H22目標値
	鑑賞者数		人		
吹奏楽ブロック大会以上への出場校		校			33

2 事業執行 (DO)	項目	単位	実績			見込	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価
			H16年度	H17年度	H18年度	H19年度				
事業費	総事業費	万円	20,541.0	20,198.0	20,011.0	20,591.0	評価・分析 (CHECK)	必要性	A	A
	事業費	万円	16,964.0	16,637.0	16,501.0	17,081.0		有効性	A	A
	国・県補助金	万円						効率性	A	B
	市(一般)	万円	16,964.0	16,637.0	16,501.0	17,081.0		公平性	B	B
	市(起債)	万円						優先性	B	B
	その他( )	万円						総合評価	A	B
	減価償却費	万円					鑑賞だけでなく、パレード、セミナー、運営ボランティア等に多くの市民が参加し、地域に根ざした夏の音楽祭として定着し、歓迎されています。出演者によるクリニック等の成果として、吹奏楽のブロック以上の大会への出場校が定着しています。			
	人件費	万円	3,577.0	3,561.0	3,510.0	3,510.0	4 展開 (ACTION)	展開の方向	展開の手段	
	正規職員	人	4.00	4.00	4.00	4.00		拡大	委託化	
	嘱託職員	人	1.00	1.00	1.00	1.00		継続	市民参加	
臨時職員	人					縮小		事業主体の見直し		
合計	人	5.00	5.00	5.00	5.00	廃止	手続きの見直し			
事業費に対する収入等の割合	%					休止	業務の見直し			
コスト	鑑賞者数	人	96,531	92,997	93,217	94,000	統合	規模の見直し		
	単位当たりコスト	円	2,128	2,172	2,147	2,191	過去15回、市民とともに作りあげるフェスティバルとして、市民の中に浸透。また、教育面での多大な貢献も顕著。音楽祭が永続していくよう、また音楽祭を核として芸術文化の振興を図るなど、音楽文化の拡大と支援体制の充実を推進。			
	市民一人当たりコスト	円	985	884	876	901				
指標	鑑賞者数	人	96,531	92,997	93,217	H18目標達成率				
	対前年度伸び率	%		96.3	100.2	93.2%				
吹奏楽ブロック大会以上への出場校	対前年度伸び率	%		96.7	96.6	84.8%				
	吹奏楽ブロック大会以上への出場校	校	30	29	28	H18目標達成率				
市民協働	・運営ボランティア、小・中学生の歓迎パレードへの参加など。 ・商工会議所など26団体で組織される「松本市国際音楽祭推進団体協議会」に一部事業を委託。									
備考	主催は、(財)サイトウ・キネン財団、サイトウ・キネン・フェスティバル松本実行委員会。市は共催の立場で支援。									

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名	芸術文化振興基金積立	5
-------	------------	---

事業期間	昭和 59 年度 ~ 平成 年度	担当 部課	教育部 教育政策課	課コード	131000
		記入者	林	電話	3111

第8次基本計画の位置付け	6	心豊かに夢がふくらみ育つまち	予算 科目	会計	一般会計
	3	多様で特色ある文化芸術が花開くまちをつくる		款・項	教育費 社会教育費
	1	市民の参画や多彩な活動を促し、豊かな文化芸術の振興をめざす		大業	社会教育事務費

1 概要	事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
	芸術文化の振興のため市民・団体等から寄せられる寄付金及び一般会計からの繰越金		寄付金・繰入金を基金として積み立て、その利子及び原資を芸術文化事業の振興及び施設整備の資金として役立てる。

1 概要	事業内容・計画	内 容	基礎となる計画	
	1 基金の設置時期 昭和59年3月1日 2 基金の現在高(平成18年度末) 285,742,612円 3 基金の活用状況 S59年: 音文ホール建設 H 3年: 中央図書館建設、旧司祭館復原 H 5年: 窪田空穂記念館、旧制高等学校記念事業 H 9年: 島内公民館 H12~13年: 美術館建設、美術資料購入 H14年: 司法博物館用地購入			
	市民要望(ニーズ)等の状況		国・県・民間等における類似事業	根拠法令等
			芸術文化振興基金は、653億円(政府541、民間112)を原資として、その運用益をもって、芸術文化活動に助成	松本市芸術文化振興基金条例

1 概要	成果指標	指標名称	単位	指標の計算式等	H22目標値
	活動指標	年間寄付件数	件		5
		基金残高	千円	年度末の現在高	

2 事業執行(DO)	項目	単位	実績			見込	3 評価・分析(CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価
			H16年度	H17年度	H18年度	H19年度				
事業費	総事業費	万円	40.3	45.3	366.1	65.1	3 評価・分析(CHECK)	必要性	A	A
	事業費	万円	32.0	37.0	358.0	57.0		有効性	B	B
	(内訳)	万円						効率性	B	B
	国・県補助金	万円						公平性	B	B
	市(一般)	万円	32.0	37.0	358.0	57.0		優先性	C	C
	市(起債)	万円						総合評価	B	B
	その他( )	万円					1 芸術文化に対する寄付の受け入れ先及び施設整備の財源確保のため基金を設置しており、最も確実かつ有利な方法で運用 2 施設整備の原資としての積立が主で、運用益も少なく、国の基金のような芸術文化事業への助成は困難。			
	減価償却費	万円					4 展開(ACTION)	展開の方向	展開の手段	
	人件費	万円	8.3	8.3	8.1	8.1		拡大	委託化	
	(職員数)	人	0.01	0.01	0.01	0.01		継続	市民参加	
正規職員	人					縮小		事業主体の見直し		
嘱託職員	人					廃止	手続きの見直し			
臨時職員	人					休止	業務の見直し			
合計	人	0.01	0.01	0.01	0.01	統合	規模の見直し			
コスト	事業費に対する収入等の割合	%					芸術文化の振興に係る寄付金の多くは事業の原資として直接充当されるため、主な積立の内容は特定の施設に係る原資となっている。 今後予想されるこれら施設の改修費用等の財源として、引き続き確実かつ有利な運用を図る。			
指標	年間寄付件数	件	0	0	1	H18目標達成率				
	対前年度伸び率	%		-	-	20.0%				
	基金残高	千円	281,486	282,167	285,742	H18目標達成率				
	対前年度伸び率	%		100.2	101.3	96.4%				
市民協働										
備考										



平成19年度 事務事業評価票（補助金・負担金用）

事務事業名	松本クラフト推進協会補助金	6
-------	---------------	---

		担当 部課	教育部 生涯学習課	課コード	131900							
		記入者	久保田	電話	2471							
事業期間	昭和 60 年度 ~ 平成 年度											
第8次基本 計画の位置 付け	6	心豊かに夢がふくらみ育つまち	予算 科目	会計	一般会計							
	3	多様で特色ある文化芸術が花開くまちをつくる		款・項	教育費 社会教育費							
	1	市民の参画や多彩な活動を促し、豊かな文化芸術の振興をめざす		大事業	補助金							
1 概要 (PLAN)	事業の 目的		交付先 補助金・負担金等の目的、効果									
	NPO法人松本クラフト推進協会		毎年5月にあがたの森公園で開催される「クラフトフェアまつもと」の開催費用の助成。19年度（第23回）の応募者数は1,024組、出展者数266組、2日間で約10万人が訪れる大イベントとなっている。									
	事業内容 ・計画		補助金・負担金等の算定基準 交付先の具体的な活動内容									
	定額70万円		1 「クラフトフェアまつもと」の企画・開催 ・全国のクラフトマンの個性ある作品の展示・即売 ・ものづくりの実演、子どもも参加できる体験コーナー ・映画上映、海外の作品展示、情報資料コーナーほか 2 「クラフトピクニックまつもと」の企画・開催 3 ワークショップの開催									
市民要望（ニーズ）等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等								
		日本クラフト展（社団法人日本クラフトデザイン協会）		松本市補助金交付規則								
成果指標 活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等		H22目標値						
	来場者数		人			110,000						
	応募者数		組			1,100						
2 事業執行 (DO)	項目	単位	実績			見込	補助 金等 の 性 格  3 評価・ 分析 (CHECK)  4 展開 (ACTION)	交付先区分	市民団体等			
			H16年度	H17年度	H18年度	H19年度		種類別	運営費助成			
	事業費 (内訳)	総事業費	万円	78.3	78.2	78.1		78.1	性質	任意的		
		事業費	万円	70.0	70.0	70.0		70.0	継続性	有		
			国・県補助金	万円						終期設定	無	
		市（一般）	万円	70.0	70.0	70.0		70.0	評価項目	第1次評価	第2次評価	
		人件費 (職員数)	人件費	万円	8.3	8.2		8.1	8.1	必要性	B	B
			正規職員	人	0.01	0.01		0.01	0.01	有効性	A	A
			嘱託職員	人						効率性	B	B
	臨時職員		人						公平性	B	B	
	合計	人	0.01	0.01	0.01	0.01		優先性	B	B		
	交付先の内容 (内訳)	総事業費	万円	401.0	205.0	200.0		200.0	総合評価	B	B	
		市補助金等	万円	70.0	70.0	70.0		70.0	クラフトの定期イベントとして全国的に有名になり、毎年出展応募者が増え続ける盛況。来場者の半数が県外からで、経済効果も大きいので、引き続き支援していきたい。			
		市以外の補助金等	万円									
		その他	万円	331.0	135.0	130.0		130.0				
	市の補助率・負担率	%	17.5	34.1	35.0	35.0						
	コスト	出展者数	組	260	260	259		266	展開の方向	交付先の自主性を尊重しながら、内容の充実に促進。		
		単位当たりコスト	円	3,011	3,009	3,016		2,936				
		市民一人当たりコスト	円	4	3	3		3				
	指標	来場者数	人	101,000	102,000	102,000		H18目標達成率	拡大			
対前年度伸び率		%		101.0	100.0	92.7%	継続					
応募者数		組	718	830	950	H18目標達成率	縮小					
対前年度伸び率		%		115.6	114.5	86.4%	廃止					
備考							休止					
							統合					

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名		芸術文化祭事業						7					
		担当部課	教育部 生涯学習課		課コード	131900							
		記入者	太田		電話	2471							
事業期間	昭和 35 年度 ~ 平成 年度												
第8次基本計画の位置付け	6	心豊かに夢がふくらみ育つまち		予算科目	会計	一般会計							
	3	多様で特色ある文化芸術が花開くまちをつくる			款・項	教育費 社会教育費							
	1	市民の参画や多彩な活動を促し、豊かな文化芸術の振興をめざす			大業	芸術文化事業費							
1 概要 (PLAN)	事業の目的	対象(誰を・何を) 市民、通勤・通学者、芸術文化団体ほか		意図(どういう状態にしたいのか) 和・洋を問わず、玄人・素人の別なく、芸術文化に関係・関心のある多くの市民が参画して、各種発表会・演奏会・展示会を開催し、市の芸術文化の普及・向上を図るもの。									
	事業内容・計画	内 容 第48回松本市芸術文化祭の開催 1 展示部門公募展 ・写真・絵画・文芸・書道・美術工芸・水石の作品展 ・市内小中学生造形展、学生美術展 2 上演部門公演 市民公募(出演・スタッフ)による総合舞台劇「松本城物語」 3 市内各種団体による発表会・演奏会・展示会			基礎となる計画								
成果指標 活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等			H22目標値						
	参加者数		人				16,000						
2 事業執行 (DO)	項目	単位	実績			見込		3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価		
			H16年度	H17年度	H18年度	H19年度			必要性	A	A		
	総事業費	万円	2,002.9	1,155.1	1,123.1	1,123.1			有効性	B	B		
	(内訳)	事業費	万円	1,000.0	450.0	450.0	450.0		効率性	B	B		
		国・県補助金	万円						公平性	B	B		
		市(一般)	万円	1,000.0	450.0	450.0	450.0		優先性	B	B		
		市(起債)	万円						総合評価	B	B		
		その他( )	万円						50年近い歴史があり、市内の芸術文化団体の成果発表の場となっています。マンネリ傾向を避けるため、展示部門の多くに公募を導入し、年々応募数も増え、作品のレベルも上がっています。				
	減価償却費	万円							展開の方向	展開の手段			
	(職員数)	人件費	万円	1,002.9	705.1	673.1	673.1		拡大		委託化		
		正規職員	人	1.16	0.83	0.83	0.83		継続		市民参加		
		嘱託職員	人	0.16	0.08				縮小		事業主体の見直し		
		臨時職員	人						廃止		手続きの見直し		
	合計	人	1.32	0.91	0.83	0.83			休止		業務の見直し		
	事業費に対する収入等の割合	%							統合		規模の見直し		
コスト	参加者数	人	22,500	15,300	15,700	16,000		4 展開 (ACTION) 公募方法の検討を行ない、より広範な市民参加を目指して推進。また、実行委員会をより充実したものとし、市民ニーズを的確に反映させた芸術文化祭を運営。					
	単位当たりコスト	円	890	755	715	702							
	市民一人当たりコスト	円	96	51	49	49							
指標	参加者数	人	22,500	15,300	15,700	H18目標達成率							
	対前年度伸び率	%		68.0	102.6	98.1%							
	対前年度伸び率	%		-	-	H18目標達成率							
市民協働	松本市芸術文化市民協議会役員、文化祭実行委員で組織される実行委員会に、市が委託料を支出し事務局を担当。												
備考													

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名	お城盆踊り事業	8
-------	---------	---

事業期間	昭和 21 年度 ~ 平成 年度	担当 部課	教育部 生涯学習課	課コード	131900
		記入者	内山	電話	2471

第8次基本計画の位置付け	6	心豊かに夢がふくらみ育つまち	予算 科目	会計	一般会計
	3	多様で特色ある文化芸術が花開くまちをつくる		款・項	教育費 社会教育費
	1	市民の参画や多彩な活動を促し、豊かな文化芸術の振興をめざす		大業	芸術文化事業費

1 概要 (PLAN)	事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
		子どもから大人までの全て市民、観光客等	国宝松本城のたもとで、盆踊りの輪に加わることで、日本の伝統文化への理解と親しみを深め、世代を超えた市民・観光客等の交流を図る。

2 事業内容・計画	内容	基礎となる計画
	<第60回お城盆踊り> 主催：松本市教育委員会 主管：松本レクリエーション協会、松本市中央公民館 内容：教育長、教育部長、松本城管理事務所長、博物館長、中央公民館長、松本レクリエーション協会スタッフで、打合せ会を開催。 松本レクリエーション協会の指導で、事前練習会を4回開催。 8月14日～16日の午後7～9時、松本城公園で開催。	
	市民要望(ニーズ)等の状況	国・県・民間等における類似事業 根拠法令等

成果指標 活動指標	指標名称	単位	指標の計算式等	H22目標値
	参加者数	人 %		1,500

項目	単位	実績			見込		3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価
		H16年度	H17年度	H18年度	H19年度					
総事業費	万円	75.9	75.8	75.6	75.6	夏 の 風 物 詩 と し て、 昭 和 21 年 か ら 開 催 し、 60 回 を 数 え る 伝 統 的 な イ ベ ン ト で、 毎 年 延 べ 1、 000 人 を 超 え る 参 加 者 が あ り ま す。 観 光 客 か ら も「 松 本 城 を 見 な が ら、 市 民 と 一 緒 に 踊 れ て 楽 し い」と 好 評 で す。	必要性	A	B	
事業費	万円	60.0	60.0	60.0	60.0		有効性	B	B	
(内訳)							効率性	B	B	
国・県補助金	万円						公平性	AA	A	
市(一般)	万円	60.0	60.0	60.0	60.0		優先性	B	B	
市(起債)	万円						総合評価	A	B	
その他( )	万円									
減価償却費	万円									
人件費	万円	15.9	15.8	15.6	15.6	4 展開 (ACTION)	展開の方向	展開の手段		
(職員数)							拡大	委託化		
正規職員	人	0.02	0.02	0.02	0.02		継続	市民参加		
嘱託職員	人						縮小	事業主体の見直し		
臨時職員	人						廃止	手続きの見直し		
合計	人	0.02	0.02	0.02	0.02	休止	業務の見直し			
事業費に対する収入等の割合	%					統合	規模の見直し			

コスト	項目	単位	実績			見込		4 展開 (ACTION)
			H16年度	H17年度	H18年度	H19年度		
指標	参加人数	件	1,250	1,000	1,100	1,200	5 市民協働	
	単位当たりコスト	円	607	758	687	630		
	市民一人当たりコスト	円	4	3	3	3		
参加者数	人	1,250	1,000	1,100	H18目標達成率			
対前年度伸び率	%		80.0	110.0	73.3%			
対前年度伸び率	%				H18目標達成率			
対前年度伸び率	%							

市民協働	松本レクリエーション協会との協働し、事業を運営しています。
備考	舞台設営、音響、踊り指導の委託料として、毎年60万円を支出

平成19年度 事務事業評価票

事務事業名		国宝松本城薪能				9						
事業期間		昭和 57 年度 ~ 平成 年度		担当 部課	教育部 松本城管理事務所	課コード	132800					
				記入者	川村	電話	2475					
第8次基本 計画の位置 付け	6	心豊かに夢がふくらみ育つまち			予算 科目	会計 松本城特別会計						
	3	多様で特色ある文化芸術が花開くまちをつくる				款・項 松本城費 松本城費						
	1	市民の参画や多彩な活動を促し、豊かな文化芸術の振興をめざす				大業 各種行事運営費						
1 概要 (PLAN)	事業の目的		対象(誰を・何を)		意図(どういう状態にしたいのか)							
	市民及び観光客				有形文化財の松本城で無形文化財の薪能を行なうことにより、文化財の保護意識を高めるとともに、伝統芸能の素晴らしさをライブ体験してもらうことで、市民・観光客の心に潤いを与える。							
	事業内容・計画		内 容		基礎となる計画							
	第26回国宝松本城薪能の開催 1 日時 8月8日(水) 17:30~20:00 2 場所 松本城本丸庭園 3 演目 能2、狂言1 4 出演 観世流・坂井音重師ほか約30人 5 入場 無料											
		市民要望(ニーズ)等の状況		国・県・民間等における類似事業		根拠法令等						
		松本城での邦楽鑑賞への市民要望は高く、夜桜会、月見の宴なども開催。				文化財保護法第4条第2項						
成果指標 活動指標	指標名称		単位	指標の計算式等			H22目標値					
	観客数		人				2,500.0					
2 事業執行 (DO)	事業費 (内訳)	総事業費	万円	792.1	791.6	788.8	788.8	3 評価・分析 (CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価	
		事業費	万円	600.0	600.0	600.0	600.0		必要性	A	A	
		国・県補助金	万円						有効性	A	C	
		市(一般)	万円	600.0	600.0	600.0	600.0		効率性	A	B	
		市(起債)	万円						公平性	AA	A	
		その他( )	万円						優先性	B	B	
		減価償却費	万円						総合評価	A	B	
		人件費	万円	192.1	191.6	188.8	188.8		1 国宝をバックに、かがり火をたいての屋外公演は、他に例がない。 2 入場無料ですが、観世流と宝生流の能楽師が隔年で、毎回3演目を2時間半上演。 3 8月8日開催のイベントとして定着し、楽しみにしている市民も多い。			
		正規職員	人	0.20	0.20	0.20	0.20		4 展開 (ACTION)	展開の方向	展開の手段	
		嘱託職員	人	0.10	0.10	0.10	0.10			拡大	委託化	
	臨時職員	人					継続	市民参加				
	合計	人	0.30	0.30	0.30	0.30	縮小	事業主体の見直し				
	事業費に対する収入等の割合		%					廃止	手続きの見直し			
	コスト	観客数	人	2,756	2,547	1,794		休止	業務の見直し			
		単位当たりコスト	円	2,874	3,108	4,397		統合	規模の見直し			
市民一人当たりコスト		円	38	35	35	35	今後も委託先と連携し、能・狂言の普及、観光客の増加に努めるとともに、内容や受益者負担について検討が必要。					
指標	観客数	人	2,756	2,547	1,794	H18目標達成率						
	対前年度伸び率	%		92.4	70.4	71.8%						
						H18目標達成率						
市民協働		1 運営を松本市謡曲連合会に毎年委託(委託料200万円) 2 公演を松本城観世流団長、宝生流団長に隔年委託(委託料400万円)										
備考		松本市謡曲連合会は、後世に伝えるべき日本古来の邦楽を地道に伝承する市唯一の団体です。										



平成19年度 事務事業評価票

事務事業名	美術館の管理運営	10
-------	----------	----

事業期間	平成 14 年度 ~ 平成 年度	担当 部課	教育部 美術館	課コード	134400
		記入者	大石	電話	2270

第8次基本計画の位置付け	6	心豊かに夢がふくらみ育つまち	予算科目	会計	一般会計
	3	多様で特色ある文化芸術が花開くまちをつくる		款・項	教育費 社会教育費
	1	市民の参画や多彩な活動を促し、豊かな文化芸術の振興をめざす		大事業	美術館管理運営事業

1 概要	事業の目的	対象(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
		・市民が身近に文化芸術に親しみ、実践する機会 ・市民による創造的な文化芸術活動	美術分野における豊かな文化芸術の振興拠点として、地域と世界への複眼的な眼差しをもちつつ、市民が美術に触れる機会の増大、活発な創作活動の展開に資する

1 概要	事業内容・計画	内容	基礎となる計画
		1 展覧会の開催 地域や国内外の優れた美術世界の紹介、顕彰 2 美術資料の収集・保存 収集方針に基づくかけがえのない作品の収集、保存 3 各種事業 ・教育普及事業 講座、ワークショップ等の開催 ・貸し館事業 発表の場、学習の場を提供	松本市総合計画
		市民要望(ニーズ)等の状況	国・県・民間等における類似事業

1 概要	事業内容・計画	国・県・民間等における類似事業	根拠法令等
		・美術に触れる機会の増大 ・芸術性、親しみ易さ等バランスある展覧会 ・美術に関する学習や実践機会の充実 ・美術創作活動の支援	博物館法、松本市美術館条例、松本市美術館美術資料等収集要綱

1 概要	成果指標 活動指標	指標名称	単位	指標の計算式等	H22目標値
		利用者数	人		200,000.0

2 事業執行(DO)	項目	単位	実績			見込	3 評価・分析(CHECK)	評価項目	第1次評価	第2次評価
			H16年度	H17年度	H18年度	H19年度				
事業費	総事業費	万円	43,256.0	41,782.0	40,065.0	42,725.0	3 評価・分析(CHECK)	必要性	A	A
	事業費	万円	25,810.0	23,744.0	22,171.0	24,914.0		有効性	A	A
	(内訳)							効率性	B	A
	国・県補助金	万円						公平性	A	A
	市(一般)	万円	18,600.0	17,191.0	14,652.0	17,857.0		優先性	B	B
	市(起債)	万円						総合評価	A	A
	その他(歳入充当)	万円	7,210.0	6,553.0	7,519.0	7,057.0	4 展開(ACTION)	1 生涯学習の支援として、鑑賞・表現・学習・交流の場を提供 2 講演会、作品解説会、ワークショップ、キャンドルナイト等を開催し、市民に親しまれる管理施設に努めています。		
	減価償却費	万円	8,961.0	8,961.0	8,961.0	8,961.0		展開の方向	展開の手段	
	人件費	万円	8,485.0	9,077.0	8,933.0	8,850.0		拡大	委託化	
	(職員数)							継続	市民参加	
	正規職員	人	9.00	10.00	10.00	10.00	縮小	事業主体の見直し		
	嘱託職員	人	3.00	2.00	2.00	2.00	廃止	手続きの見直し		
	臨時職員	人	3.00	4.00	4.00	3.00	休止	業務の見直し		
	合計	人	15.00	16.00	16.00	15.00	統合	規模の見直し		
	事業費に対する収入等の割合	%	27.9	27.6	33.9	28.3	学校、市民団体との連携を深め、参加・協働を推進。 市民モニター制度を試行し、利用者の声を反映。 補助金、協賛金等の財源確保を図る。			
コスト	利用者数	人	182,085	134,400	239,821					
	単位当たりコスト	円	2,376	3,109	1,671					
	市民一人当たりコスト	円	2,074	1,830	1,754	1,870				
指標	利用者数	人	182,085	134,400	239,821	H18目標達成率				
	対前年度伸び率	%		73.8	178.4	119.9%				
	対前年度伸び率	%		-	-	H18目標達成率				
市民協働	講座、ワークショップなど、市民協働による普及事業の展開						4 展開(ACTION)			
備考										